

スカパーJSATグループ
2014年度 通期決算説明会

2015年5月14日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。

なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティ及び顧客情報管理システムの障害に関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

通期連結決算概要

損益概要

■ 対前年度比、減収・増益。

(単位: 百万円)

	FY2013 通期累計	FY2014 通期累計	増減率
営業収益	171,683	163,294	△4.9%
営業利益	21,713	19,627	△9.6%
経常利益	21,529	19,580	△9.1%
当期純利益	9,659	13,515	39.9%
EBITDA ^(*1)	43,673	43,624	△0.0%

*1. EBITDA = 当期純利益 + 税金費用 + 支払利息 + 減価償却費

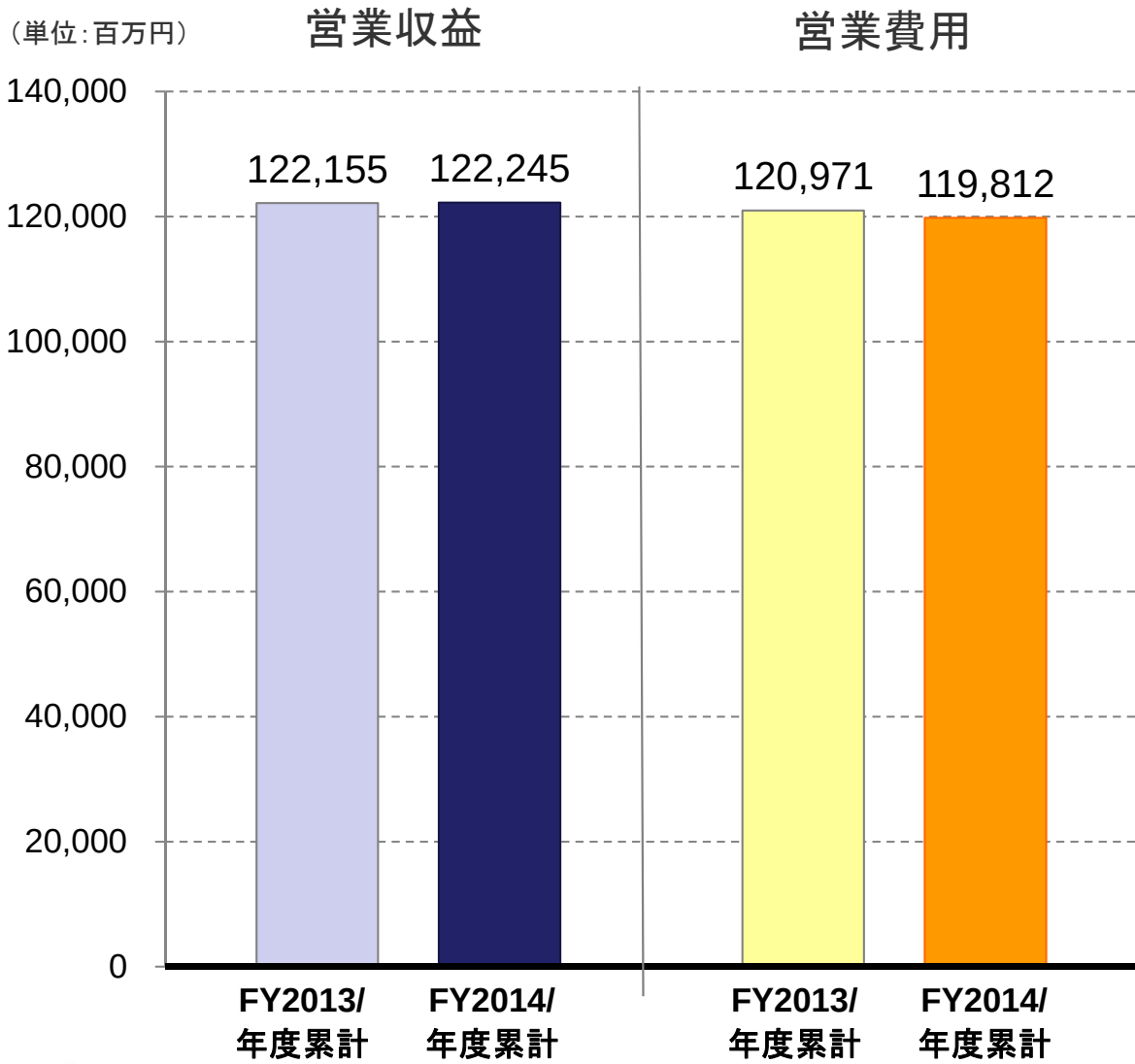
損益概要： 前年度実績対比／セグメント別

- 有料多チャンネル事業：増収・増益。ハイビジョンサービスへの移行終了等による費用減で前年度を上回る黒字を達成。
- 宇宙・衛星事業：減収・減益。官公庁案件の剥落等による。

(単位：百万円)

	FY2013 実績	FY2014 実績
営業収益	171,683	163,294
有料多チャンネル事業	122,155	122,245
宇宙・衛星事業	62,586	53,388
消去又は全社	▲13,059	▲12,338
営業利益	21,713	19,627
有料多チャンネル事業	1,184	2,432
宇宙・衛星事業	21,083	17,829
消去又は全社	▲554	▲634

有料多チャンネル事業の業績概況：前年度比較



営業収益(+1億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- ハイビジョンサービス視聴料収入の増加: +66億円
- 業務手数料収入の減少等: ▲38億円
 - ・ スカパー！サービス手数料収入等: +10億円
 - ・ 標準画質サービスに係わる手数料収入等: ▲42億円
 - ・ その他: ▲6億円
- 送信料収入の減少: ▲13億円
- 加入料・基本料の減少: ▲11億円

営業費用(▲12億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

- 番組供給料の増加: +18億円
- ハイビジョンサービスへの移行費用の減少: ▲37億円

宇宙・衛星事業の業績概況：前年度比較

営業収益(▲92億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

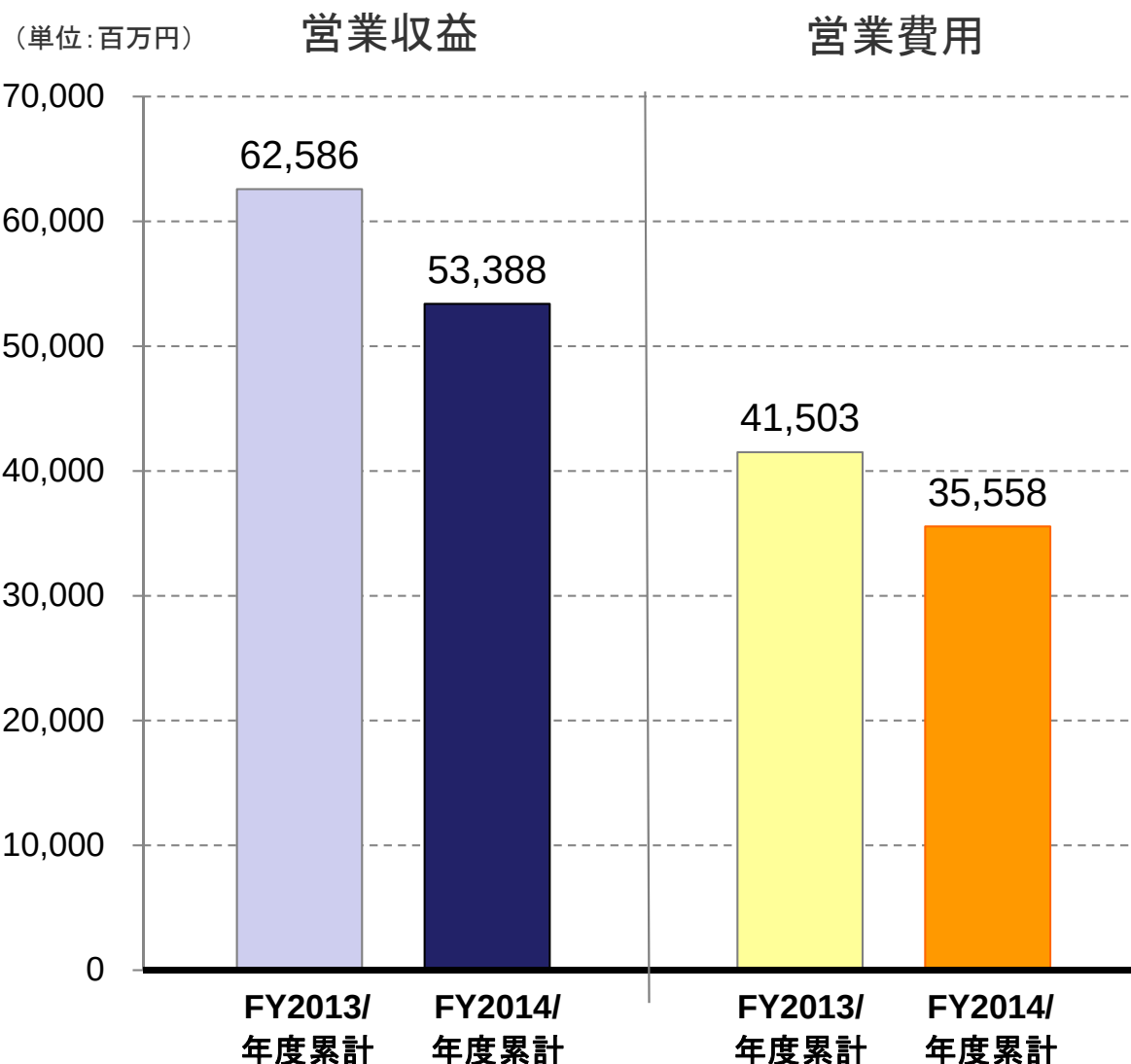
- 国際サービス収入の増加：+13億円
- ハイビジョンサービス向け放送トラポン収入の増加：+15億円
- 標準画質向け放送トラポン収入の減少：▲68億円
- 前期の官公庁案件の剥落：▲57億円

営業費用(▲59億円)*

<主な増減要因>

* セグメント間内部取引を含む。

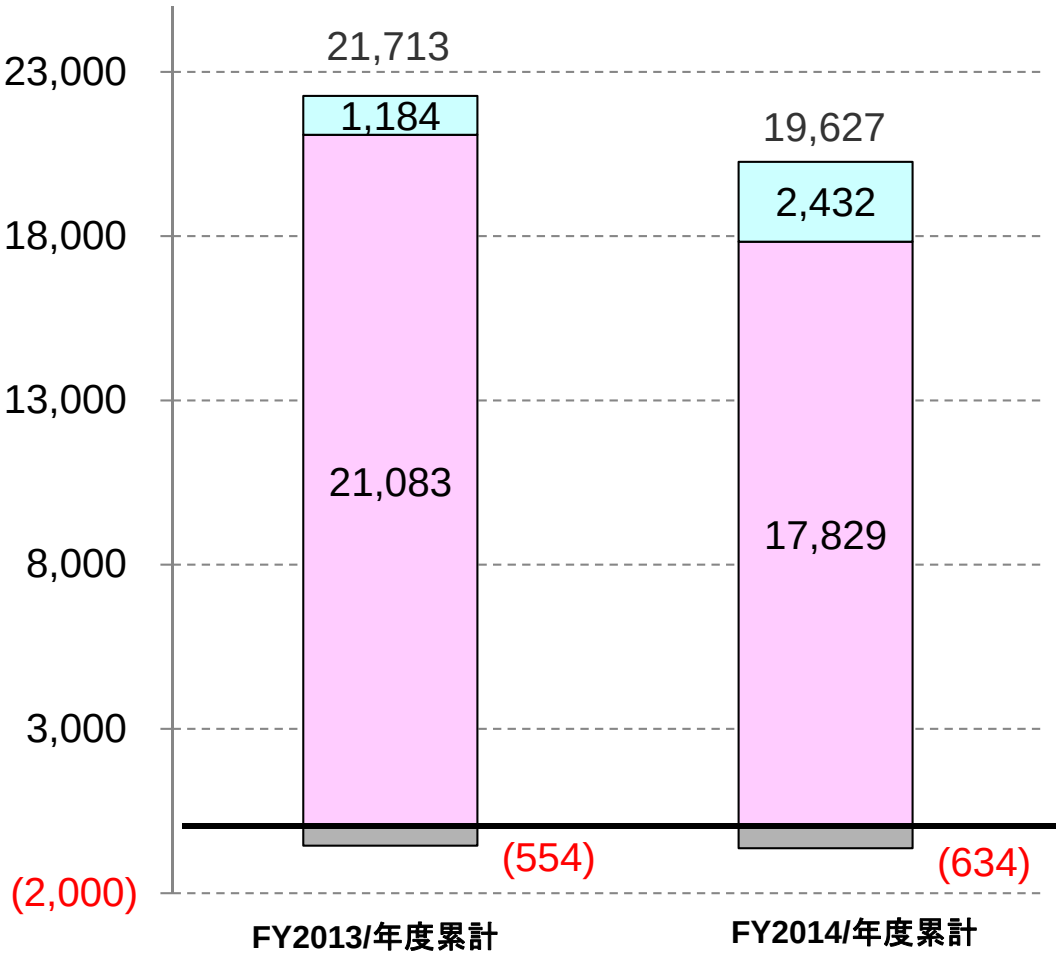
- 衛星事業原価等の減少：▲46億円
- 衛星減価償却費の減少：▲9億円



利益指標

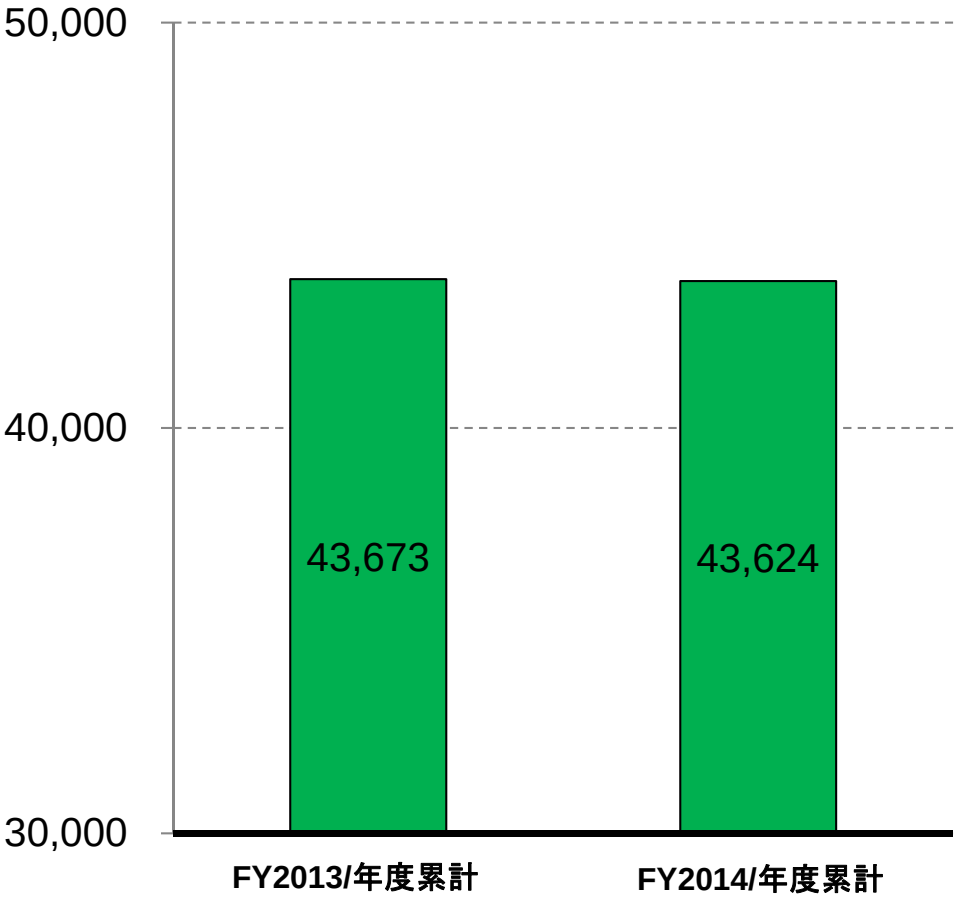
営業利益

(単位: 百万円)



EBITDA

(単位: 百万円)



今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

有料多チャンネル事業の主要指標(*)

	FY2013 通期 累計	FY2014 通期 累計	FY2015 通期目標
新規加入件数(万件)	48.0	42.5	48.2
純増数(万件)	△11.3	△25.5	7.5
累計加入件数(万件)	371.7	346.2	353.7
加入者月額支払単価(¥)	3,179	3,326	-
ARPU(¥)	2,004	2,217	-
SAC 単価(¥)	36,007	39,412	-

* スカパー！、スカパー！プレミアムサービス、スカパー！プレミアムサービス光の合計値

2015年度の取り組み方針

1. 契約者総数拡大（スカパー！オンデマンドを含む）
 - 新規獲得 + 再加入獲得 + 解約防止
2. 視聴料総額拡大
3. プレミアムサービスの維持・拡大
4. スカパー！オンデマンドの拡大
5. 海外事業の拡大

2015年度加入目標

2015年度加入目標	加入件数
2014年度末累計加入件数	346.2万件
新規加入合計	48.2万件
スカパー！	(39.5万件)
スカパー！プレミアムサービス	(7.6万件)
スカパー！プレミアムサービス光	(1.1万件)
解約率	16.2%
純増数	7.5万件
2015年度末累計契約者数(加入件数)	353.7万件

■スカパー！オンデマンド

2016年3月度 有料購入者数※	14.2万件
2015年度末 累計登録者数	65.0万件

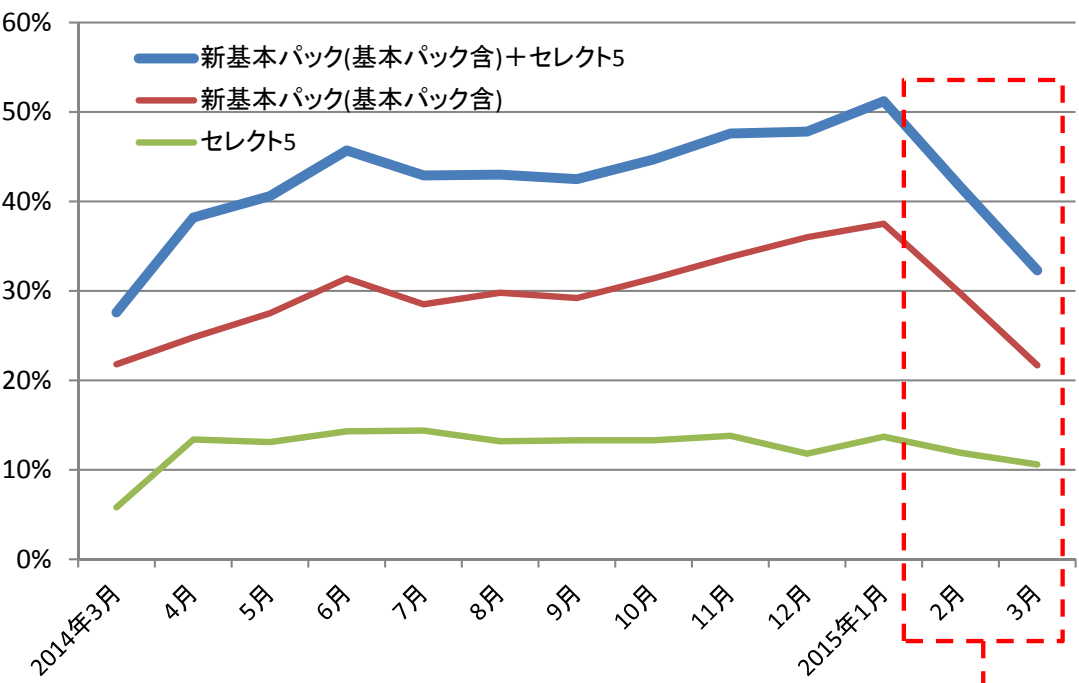
※2016年3月単月に有料で購入した登録者の合計です。

基幹商品の契約状況

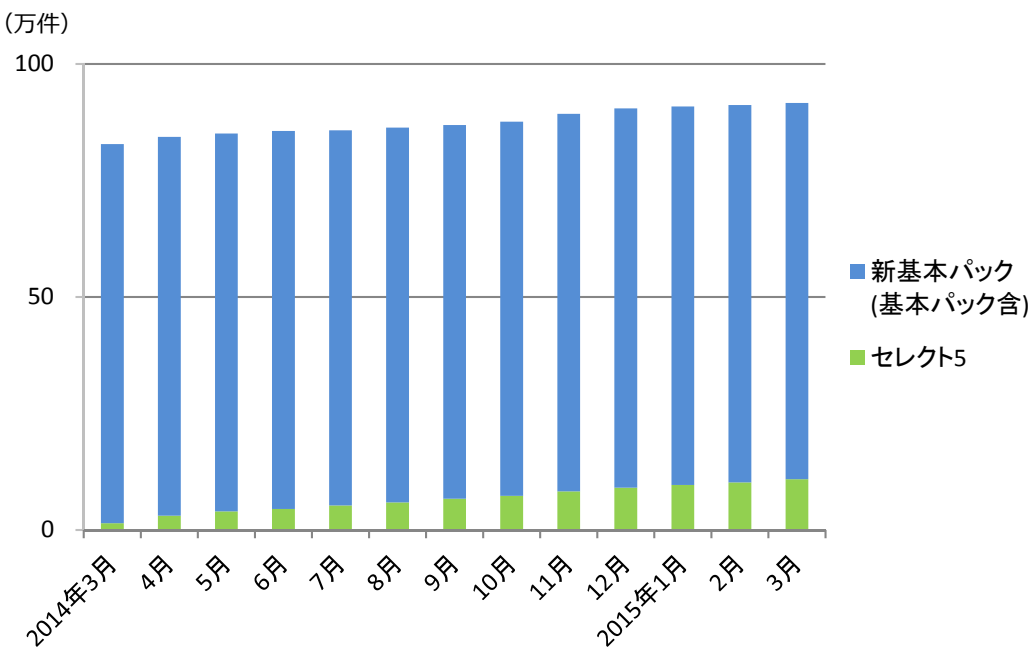
新基本パック／セレクト5の新規加入者選択率は高水準で推移

新基本パック（基本パック含む）とセレクト5の契約動向

＜ 新規加入時の選択率 ＞



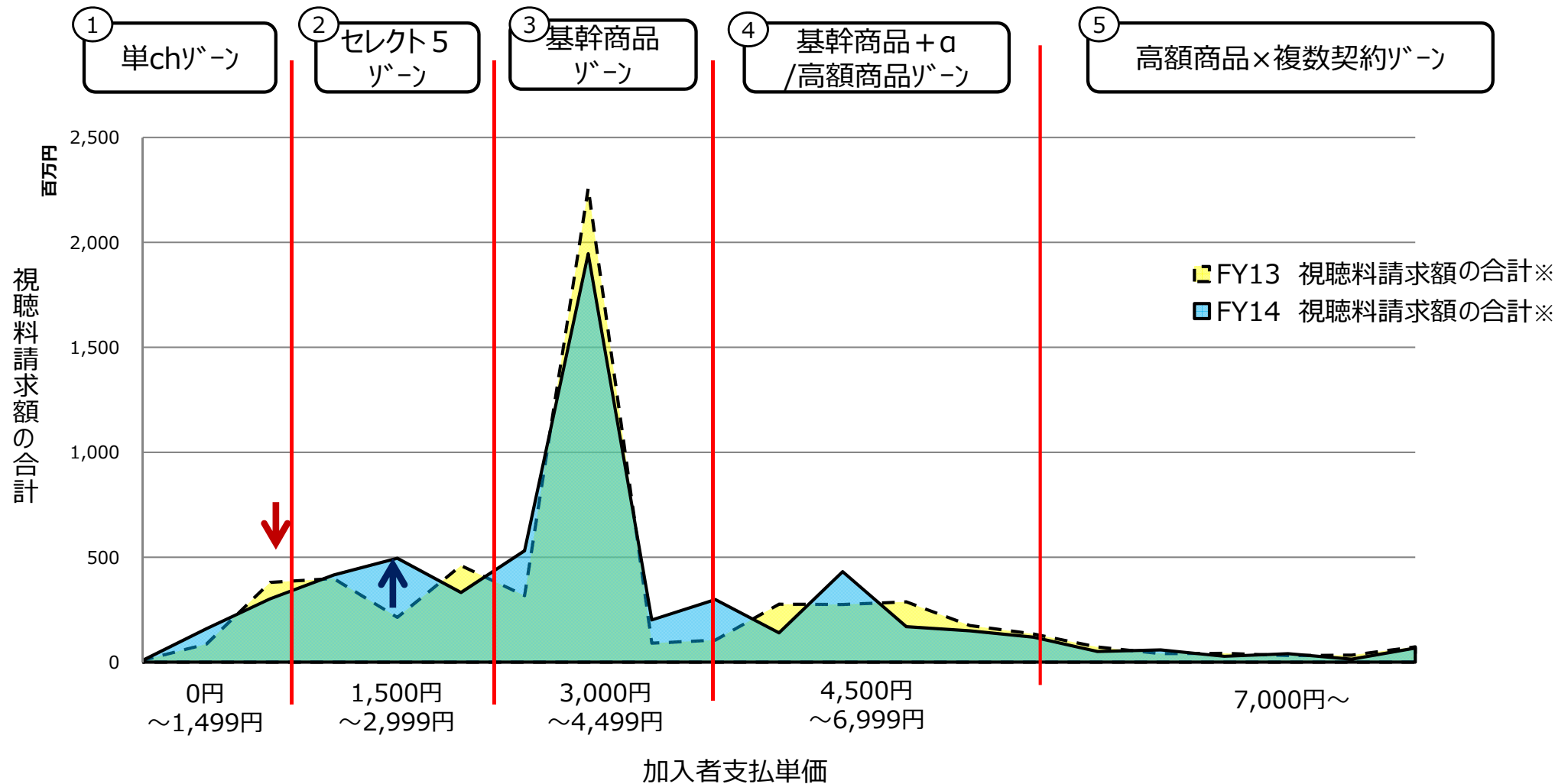
＜ 契約件数の内訳 ＞



2月、3月は、スポーツシーズン開幕によるスポーツ系の
パック・チャンネルの選択率上昇のため、
新基本パック・セレクト5の選択率が相対的に低下。

スカパー！サービスの加入分布

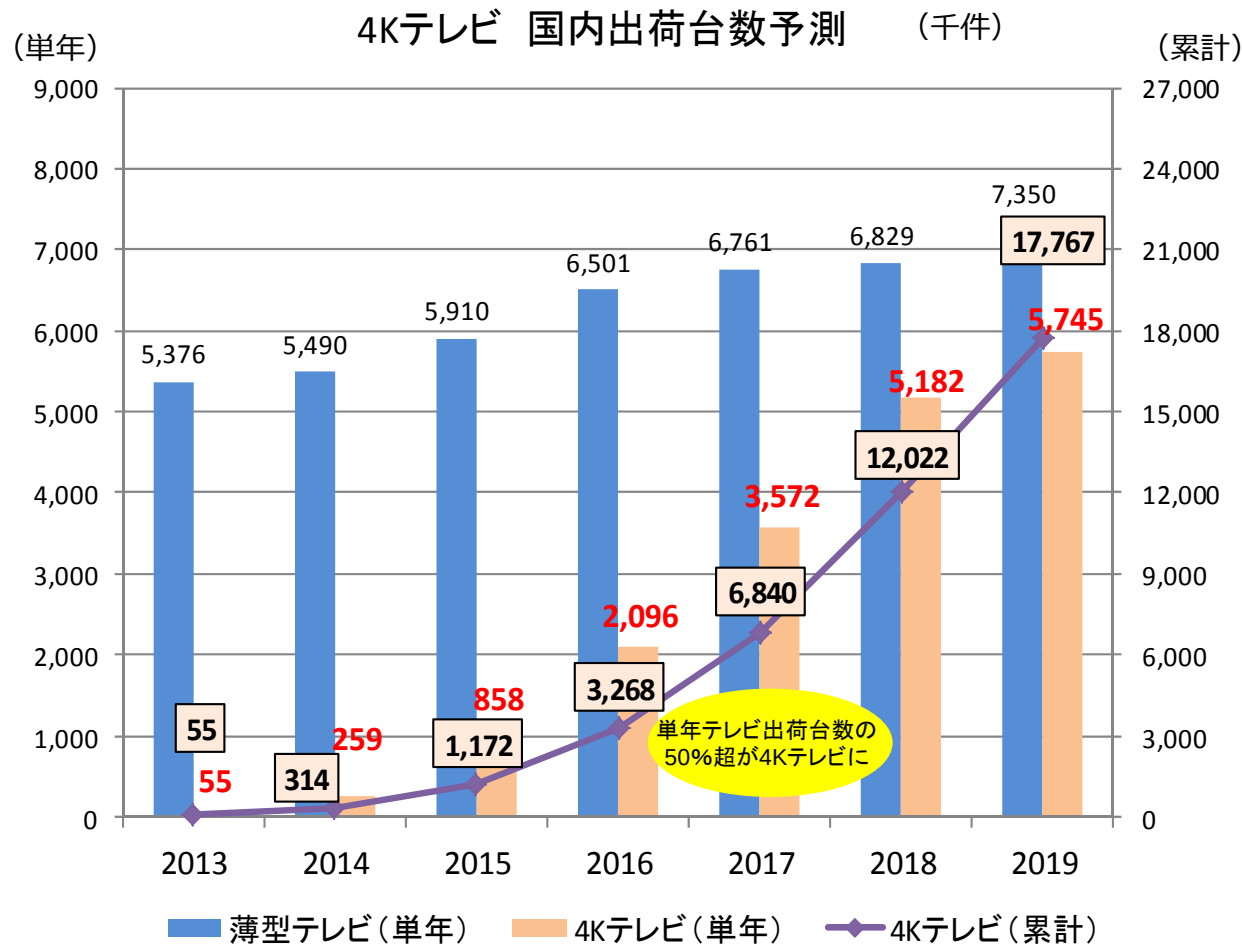
セレクト5効果等により支払単価別の加入分布が変化



※2013年12月と2014年12月の単月視聴料請求額の合計

4K放送取り組み強化①

家電メーカーの4Kテレビ／レコーダーへのプレミアムサービスチューナー内蔵化を加速



出典: 電子情報技術産業協会 (JEITA) 「AV & IT 機器世界需要動向～2019年までの展望」

4K対応プレミアムサービスチューナー 内蔵機器 (4K放送対応機器)

NEW! SONY BRAVIA □ 2015年6月発売予定 □ 液晶テレビ「ブラビア」(3シリーズ7機種)	TOSHIBA REGZA □ 2014年10月発売 □ 液晶テレビ「レグザ」(Z10Xシリーズ3機種)
SONY  □ 2014年10月発売 □ 専用BOX	SHARP  □ 2014年6月発売 □ HDDレコーダー

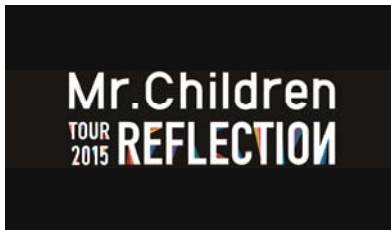
4K放送取り組み強化②

コンテンツと家電店頭販促を強化し、多チャンネル視聴のきっかけをつくる

4Kコンテンツ強化
✓ 6月よりハリウッド作品放送開始



© J.LEAGUE PHOTOS



©2015 PARAMOUNT PICTURES. STAR TREK AND RELATED MARKS AND LOGOS ARE TRADEMARKS OF CBS STUDIOS INC. ALL RIGHTS RESERVED.

家電店頭取り組み強化
✓ メーカー連携キャンペーン等

家電誘導

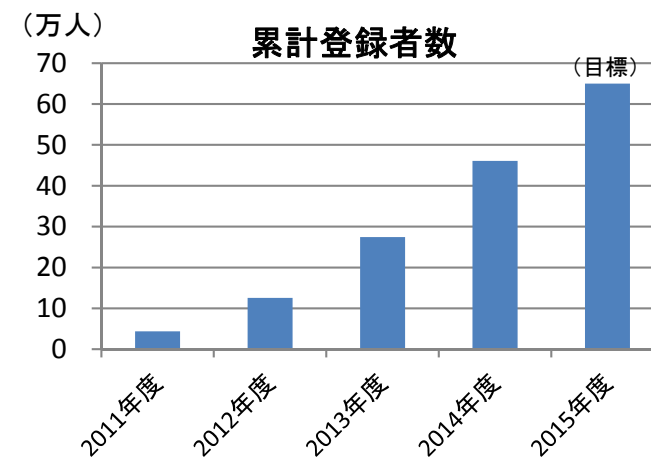


登録者数は順調に推移、コンテンツ・サービス強化により更なる増加を図る

■ 登録者数

- ✓ 2014年度末累計登録者数 : 46.1万件
- ✓ 2015年度末累計登録者目標 : 65.0万件
- ✓ 2016年3月度有料購入者数目標 : 14.2万件※

※2016年3月単月に有料で購入した登録者の合計です。



■ コンテンツ強化

- ✓ サッカー南米選手権「コパアメリカ チリ2015」全26試合LIVE配信
- ✓ Jリーグ海外7カ国配信開始 (イギリス、フランス、カナダ、インド、オーストラリア、ニュージーランド、中国(香港除く))
- ✓ Jリーグオンデマンドアプリによるコンテンツ充実

<LIVE>



<選手情報>



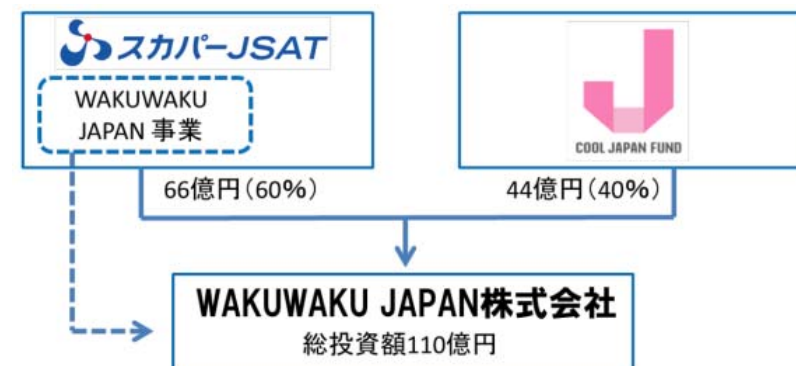
<ツイート>



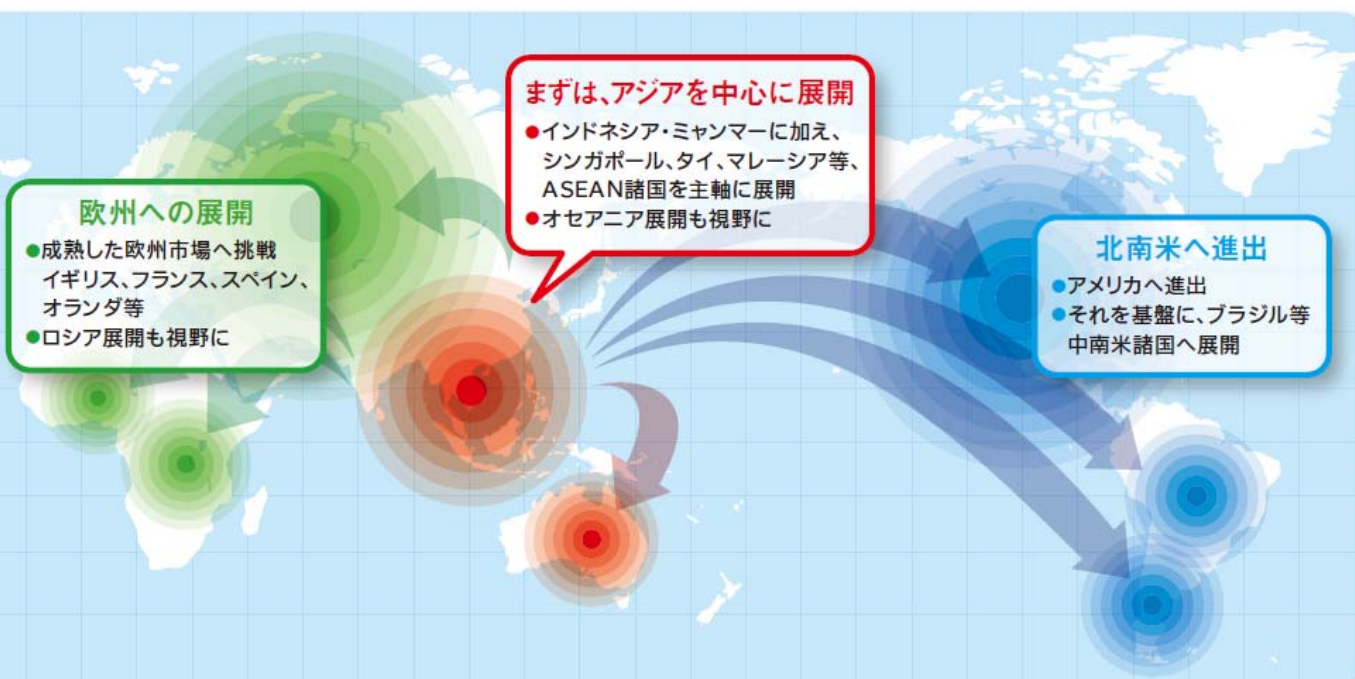
海外事業の拡大

1. 事業会社設立

- 社名 : WAKUWAKU JAPAN株式会社
- 設立 : 2015年5月1日 (2015年7月1日 第三者割当増資)
- 出資金 : 110億円 (資本金55億円、資本準備金55億円)
- 株主構成 : スカパーJSAT 60% , クールJAPAN機構 40%
(2015年7月1日第三者割当増資後)



2. 事業展開



■ 現在の展開プラットフォーム

<インドネシア>



<ミャンマー>



■ **目標 : 2020年度 22ヶ国 4,100万世帯**

■ B-CASカードの不正改造や改ざん事案の 摘発状況、訴訟状況について

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

国内市場への取り組み

■ EsBirdサービスの拡大

防災プラットフォームサービス



『高速道路会社3社(NEXCO東日本、中日本、西日本)の次期衛星通信システム』(EsBirdサービス)が2015年5月よりサービス開始

- ・本社、支社、事務所、道路管制センター等、全国約150拠点を結ぶネットワーク
- ・主に大規模災害時の地上回線のバックアップ、連絡回線として利用
- ・車載局や可搬局により、災害現場からの映像伝送による情報収集にも活用

■ ExBirdサービスの拡大

衛星IPネットワークサービス



- 原子力モニタリングポストのバックアップ回線としての利用が拡大
- 多様な業種のお客様へ利用が拡大

EsBird、ExBirdの局数の推移 (局数)



モバイル市場への取り組み

海洋ブロードバンドサービス

■ モバイル事業

OceanBB
オーシャンビービー

➤ 「OceanBB」サービス(船舶向けブロードバンド接続サービス)を拡大

- ・2010年度 サービス開始
- ・2014年度 契約隻数が235隻までに増加
- ・2015年度 JCSAT-14打上げにより、南太平洋でのエリア拡大予定

JCSAT-14 Ku-band Asia Beam & Pacific Beam



グローバルへの取り組み

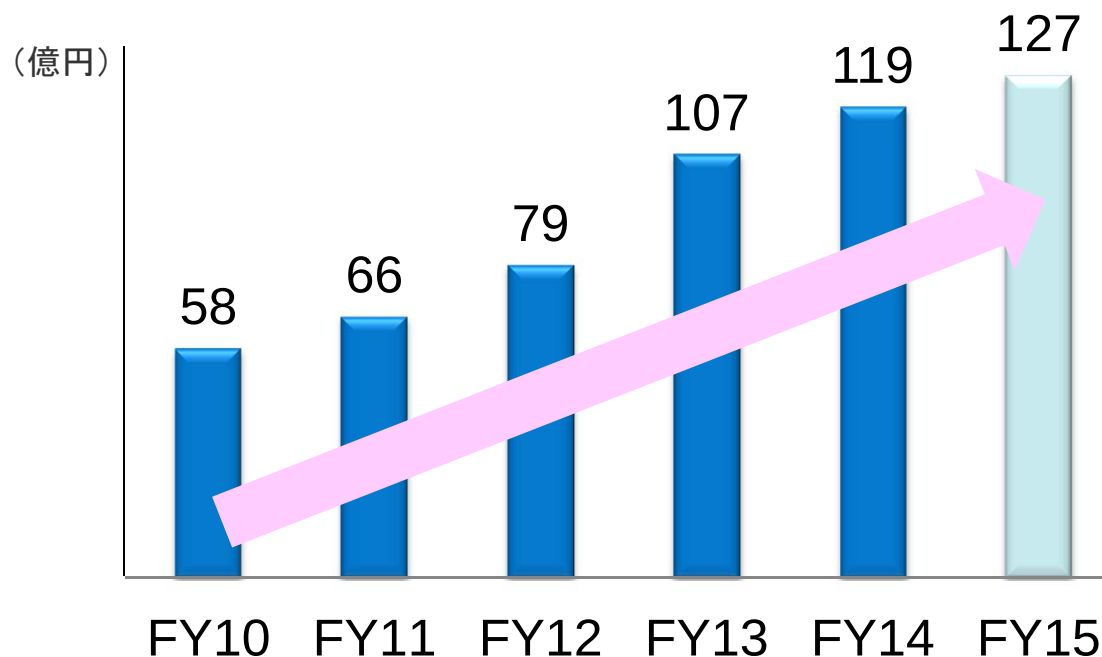
■ グローバル事業

- 成長が期待されるアジア・オセアニア地域の衛星市場を重点的に開拓し、2015年3月より、新興国で回線利用が活発化

■ グローバル・モバイル事業の売上推移

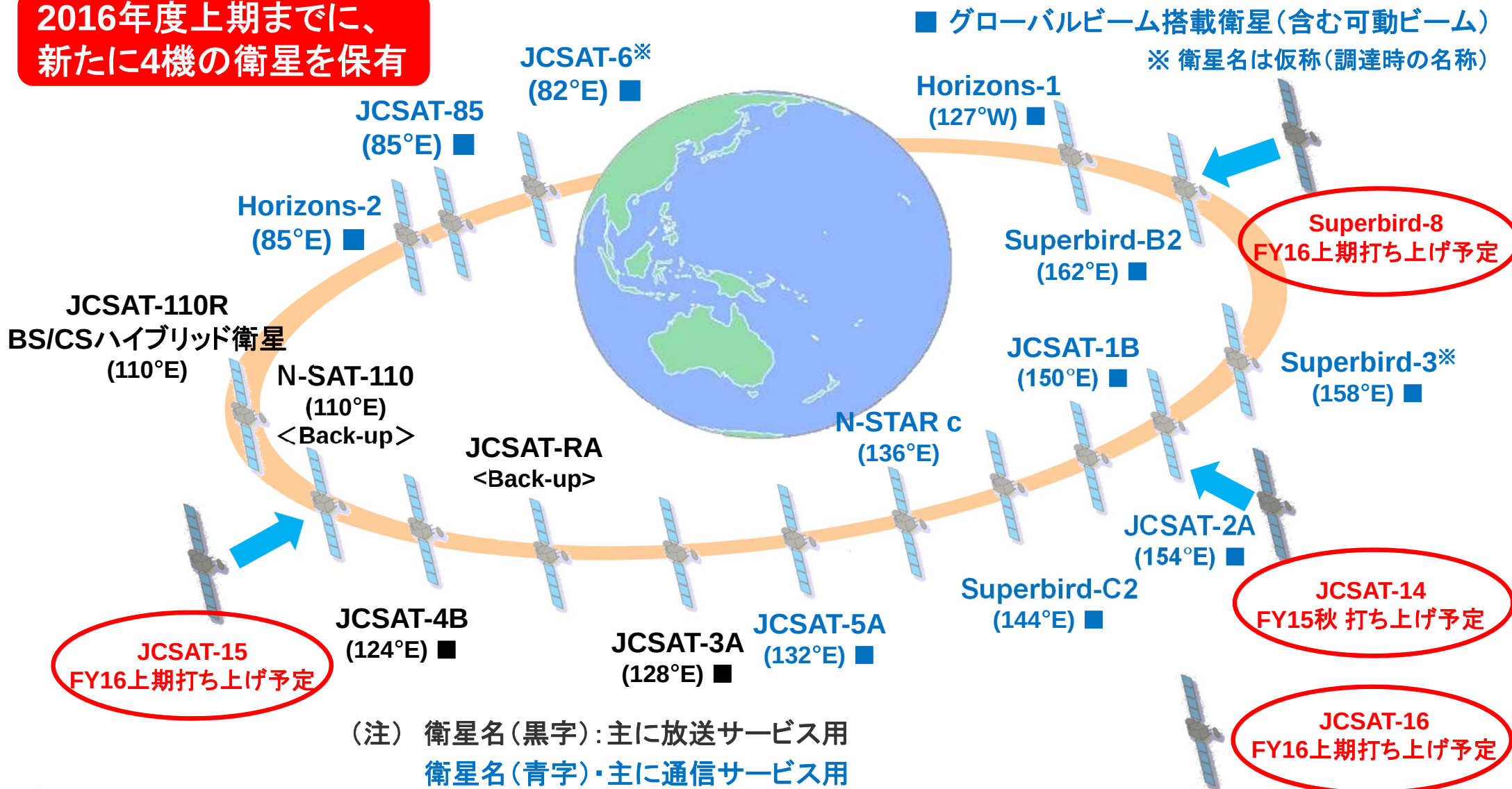
- 2014年度は、宇宙・衛星事業の売上の20%超がグローバル・モバイル事業
- グローバル・モバイル事業の売上は、FY10からの5年間で2倍に

※FY10～FY14は実績、FY15は見込



北米上空からインド洋上空まで計16機の衛星を保有

2016年度上期までに、
新たに4機の衛星を保有



2015年度連結業績予想

2015年度連結業績予想

(単位:百万円)

	FY2014 通期実績	FY2015 通期予想	増減率
営業収益	163,294	168,000	2.9%
営業利益	19,627	23,000	17.2%
経常利益	19,580	22,500	14.9%
当期純利益	13,515	14,500※	7.3%

※親会社株主に帰属する当期純利益

2015年度セグメント別業績予想

連結(単位:百万円)

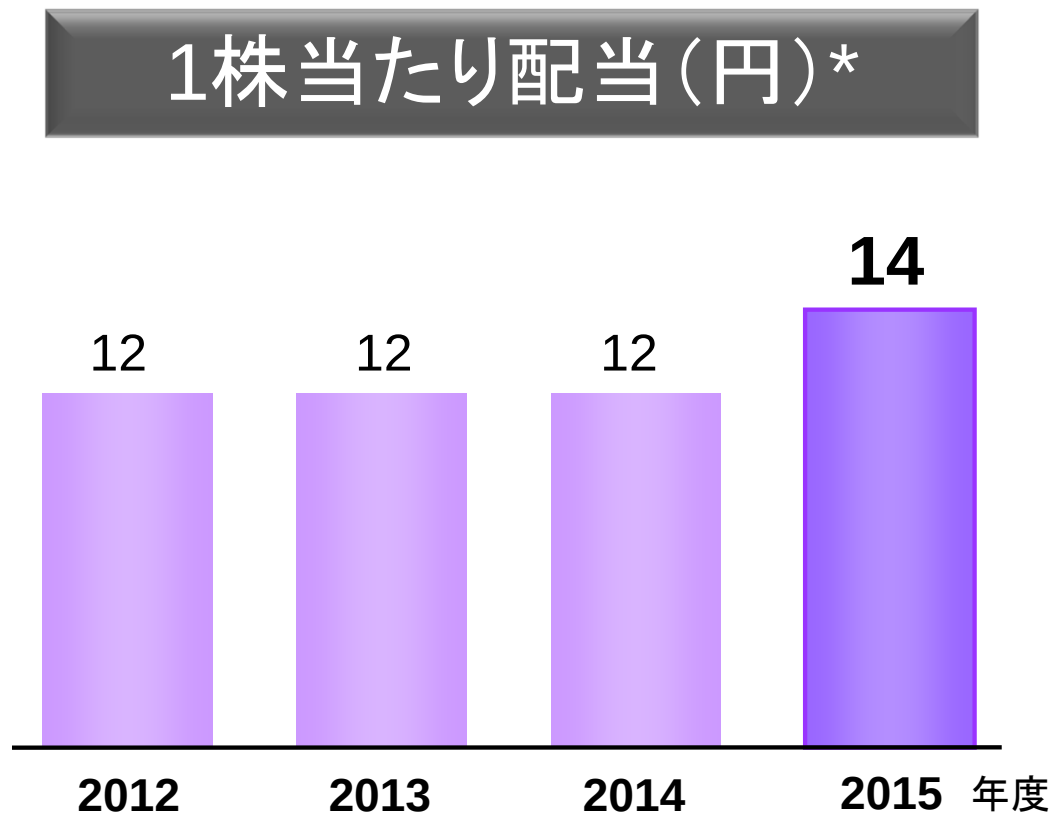
	2015年度(通期予想)			連結合計
	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	消去又は全社	
営業収益	124,000	56,000	▲12,000	168,000
営業費用	119,000	37,500	▲11,500	145,000
営業利益	5,000	18,500	▲500	23,000

2015年度通期予想における主要素

2015年度中計目標	2015年度通期予想における主要素
連結営業収益 2,000 億円 連結営業利益 200 億円	⇒連結営業収益1,680億円 ⇒連結営業利益230億円 ・グローバル・モバイルビジネスを含む事業領域拡大 ・SAC総額の低減 ・HD移行完了による移行費用の剥落 ・SD(MPEG-2)終了に伴う運用費用削減 ・打上げ遅延の可能性が高いため、次期Xバンド事業に係る営業収益・営業利益は次年度計上予定
累計加入件数 400 万件超	⇒オンデマンド含め368万件 (スカパー！オンデマンド有料購入者数:14万件含む) ・スカパー！:純増基調を維持 ・プレミアムサービス:加入者基盤を維持 ・スカパー！オンデマンド:有料購入者数の伸張

配当予想

- 2015年度は1株当たり年間12円から14円へ増配予定



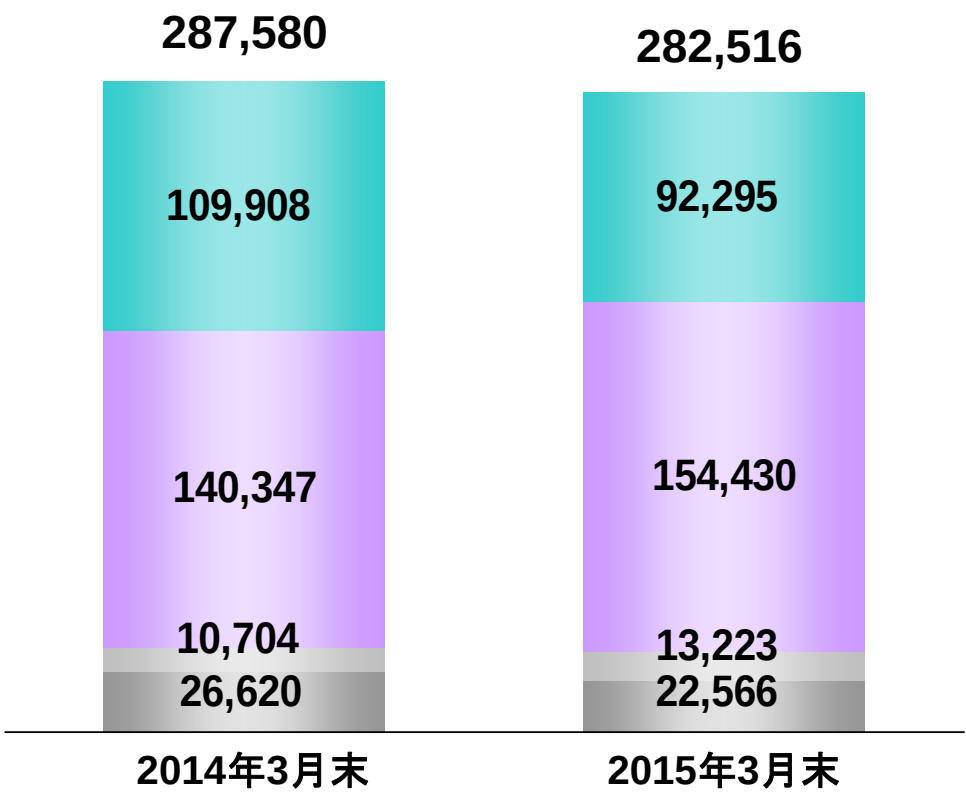
★当社は、2013年10月1日に1株を100株とする株式分割を行いました。
2013年度以前の配当は、現在の1株あたりの配当に再計算しています。

(参考資料)

連結貸借対照表

資 産

(単位: 百万円)

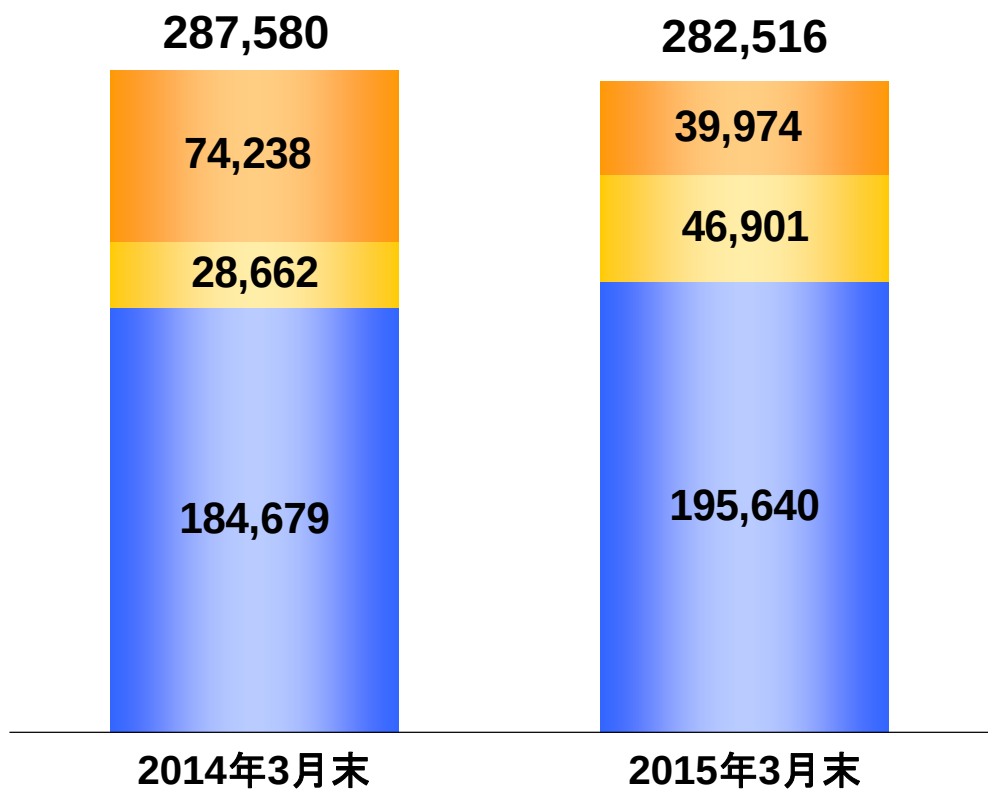


負債・純資産

(単位: 百万円)

自己資本比率: 64.1%

自己資本比率: 69.2%



流動資産 有形固定資産 無形固定資産 投資その他資産 流動負債 固定負債 純資産

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

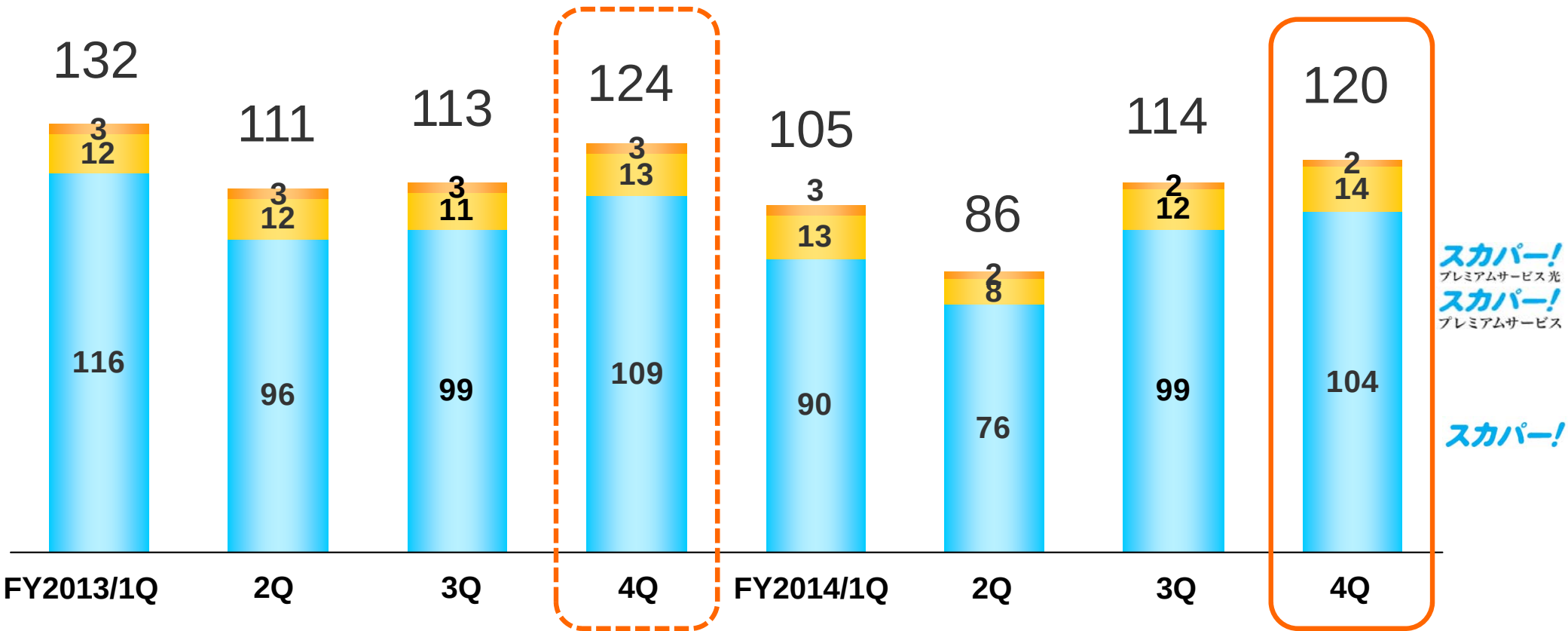
	FY2013/4Q 累計	FY2014/4Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,345	16,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,969	△34,746
フリー・キャッシュフロー (*1)	14,375	△18,113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,444	△12,078
現金及び現金同等物の期末残高(a)	63,783	33,963
有利子負債期末残高 (*2) (b)	45,994	38,366
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	△17,789	4,403

*1. 営業活動によるキャッシュフロー＋投資活動によるキャッシュフロー

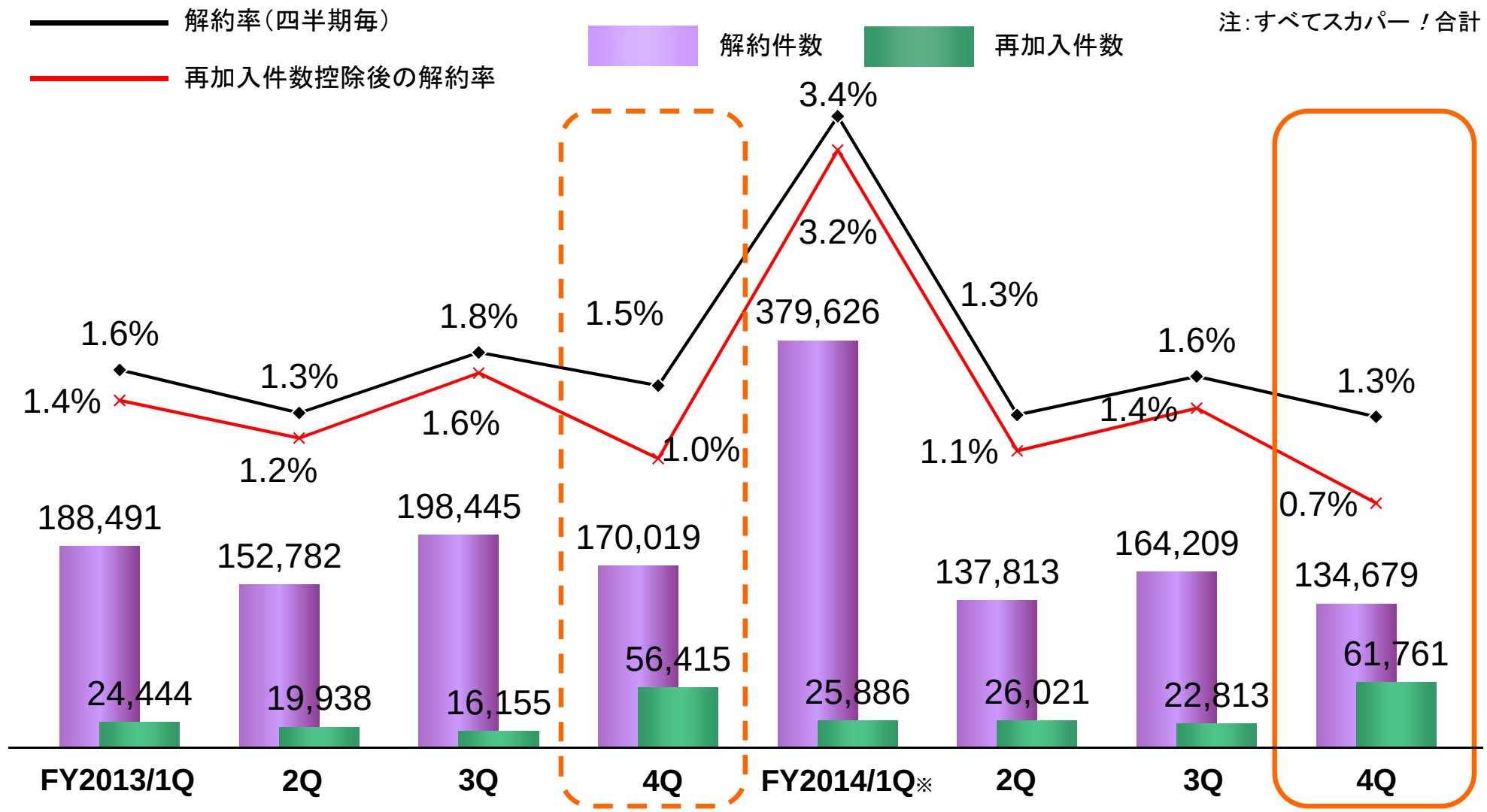
*2. 借入金＋無担保社債

新規加入件数の推移

(単位: 千件)

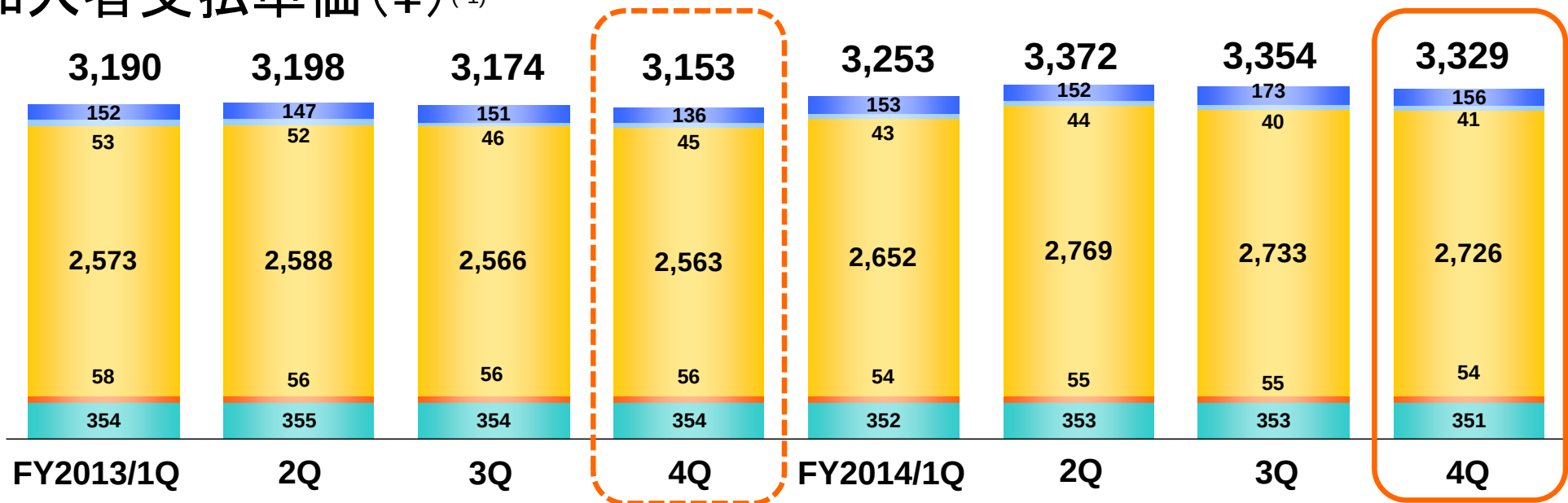


解約率の推移

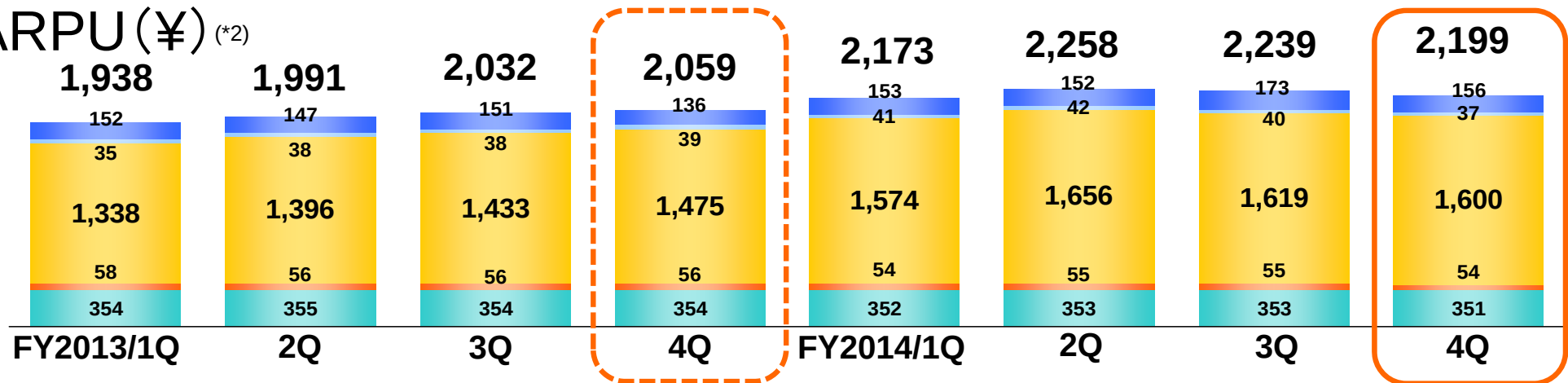


※:FY2014/1Qの解約件数、平均月次解約率、再加入件数控除後の解約率が大幅に増加している理由は、2014年5月末の標準画質サービス終了に伴う解約を含むためです。

■ 加入者支払単価(¥) ^(*1)



■ ARPU(¥) ^(*2)



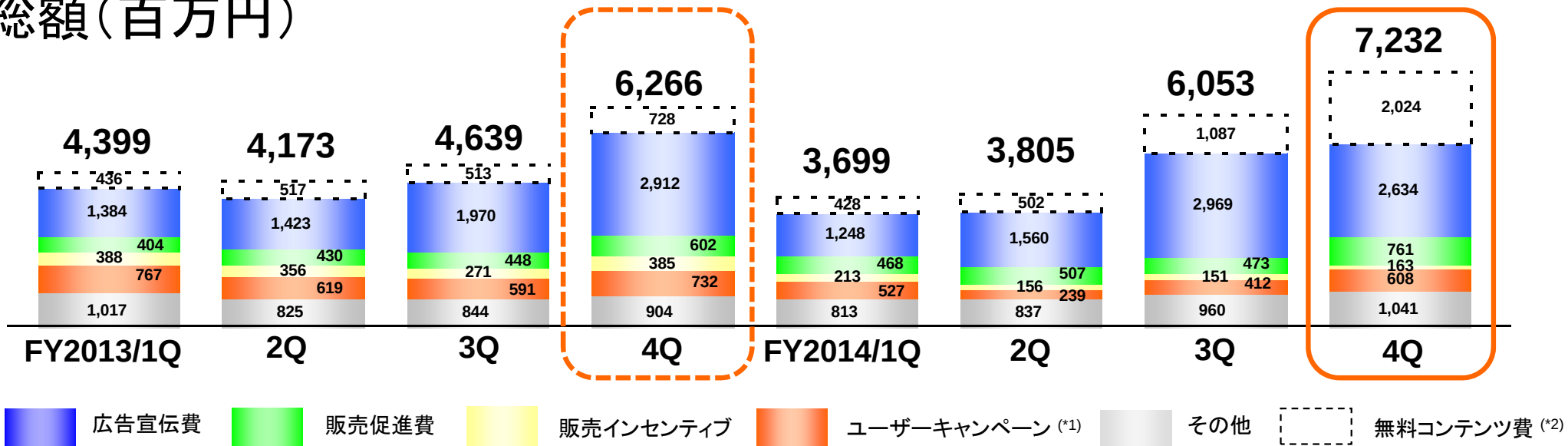
基本料/件 レンタル会費/件 フラット視聴料/件 PPV視聴料/件 自主コンテンツ収入/件

*1. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価

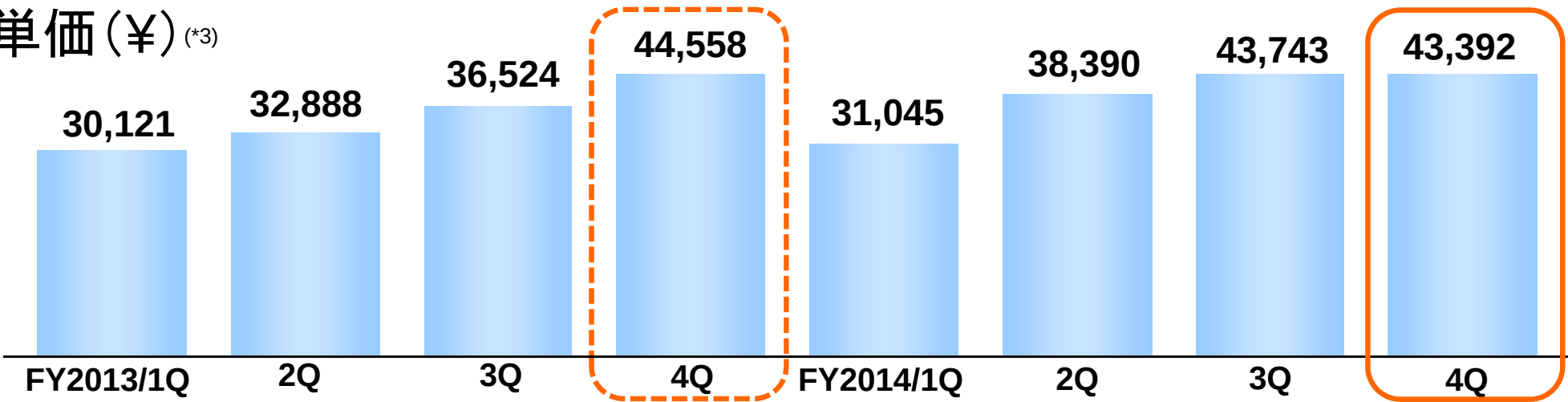
*2. 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益として計上する金額

顧客獲得費用(SAC)

■ 総額(百万円)



■ 単価(¥) (*3)



*1. 各種顧客獲得キャンペーンに係る費用
*2. 「無料コンテンツ費」は、BSスカパー！の番組制作費等を含む。
*3. SAC単価は、SAC総額(ただし「無料コンテンツ費」は除く)を対象期間の新規加入件数で割った数値

子会社業績

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPBC	OPTI	SNET	JII	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、 衛星通信	顧客管理	放送事業	光ファイバを 利用した 映像配信	衛星通信 回線再販等	衛星通信 回線販売	衛星移動 通信サービス
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100	53.3
営業収益	FY2013/4Q	129,218	7,526	58,647	11,273	4,085	2,624	1,895
	FY2014/4Q	127,638	7,623	66,215	-	4,159	2,618	2,484
営業利益	FY2013/4Q	20,168	△364	1,044	1,034	353	1,276	165
	FY2014/4Q	17,772	695	1,573	-	207	1,196	259
経常利益	FY2013/4Q	21,143	△362	1,052	1,008	332	1,292	184
	FY2014/4Q	17,972	697	1,587	-	193	1,206	303

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

OPTI:株式会社オプティキャスト(2014年4月1日付でSJCに吸収合併)

SNET:株式会社衛星ネットワーク

JII:JSAT International Inc.

JMC:JSAT MOBILE Communications株式会社

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部